

## マツダ真空管 6V6-GT

用途構造 ビーム電力増幅管

特性概要 6V6-GT は傍熱型で家庭用又は自動車用の交直両用 セットの終段管として使用する目的で設計されたビーム電力増幅管であります。特に高能率，高電力感度を有し出力管としてシングル又はプッシュプルで使用します。

カソード 傍熱型(オキサイド被覆・等電位)

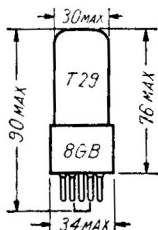
ヒーター電圧 6.3V

ヒーター電流 0.45A

バルブ T-29

ベース 8GB

## 外形

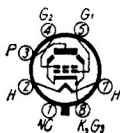


## 電極接続

- 1 接続なし
- 2 ヒーター
- 3 プレート
- 4 スクリーン
- 5 グリッド
- 7 ヒーター
- 8 カソード

ビーム・プレート

## ベース接続



電極間静電容量 (概略値) (外部シールドなし)

グリッドとプレート間.....0.7pF

入力側.....9.5pF

出力側.....7.5pF

シングル A<sub>1</sub> 級増幅

## 最大定格

ヒーター電圧.....5.7V より 6.9V

プレート電圧	最大315V
スクリーン電圧	最大285V
プレート損失	最大12W
スクリーン損失	最大2W
ヒーター・カソード間電圧	最大90V

## 動作例

ヒーター電圧	6.3V	6.3V	6.3V
プレート電圧	180V	250V	315V
スクリーン電圧	180V	250V	225V
グリッド電圧*	-8.5V	-12.5V	-13V
入力信号尖頭電圧	8.5V	12.5V	13V
零信号プレート電流	29mA	45mA	34mA
最大信号プレート電流	30mA	47mA	35mA
零信号スクリーン電流(約)	3mA	4.5mA	2.2mA
最大信号スクリーン電流(約)	4mA	7mA	6mA
プレート抵抗(約)	50K $\Omega$	50K $\Omega$	80K $\Omega$
相互コンダクタンス(約)	3.7m $\mu$	4.1m $\mu$	3.75m $\mu$
負荷抵抗	5.5K $\Omega$	5K $\Omega$	8.5K $\Omega$
出力	2W	4.5W	5.5W
歪率(全高調波歪)	8%	8%	12%

プッシュプル AB<sub>1</sub> 級増幅

## 最大定格

シングル A<sub>1</sub> 増幅に同じ

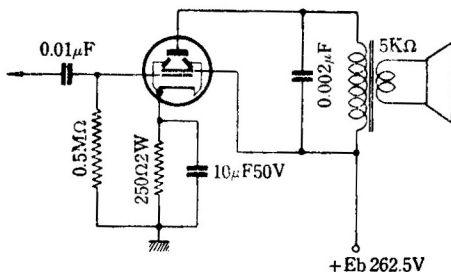
## 動作例 (2球の値)

## 固定バイアス

ヒーター電圧	6.3V	6.3V
プレート電圧	250V	285V
スクリーン電圧	250V	285V
グリッド電圧*	-15V	-19V

入力信号尖頭電圧(両グリッド間).....	30V	38V
零信号プレート電流.....	70mA	70mA
最大信号プレート電流.....	79mA	92mA
零信号スクリーン電流(約).....	5mA	4mA
最大信号スクリーン電流(約).....	13mA	13.5mA
実効負荷抵抗(プレート間).....	10K $\Omega$	8K $\Omega$
出力.....	10W	14W
歪率(全高調波歪).....	5%	3.5%

### 使用法

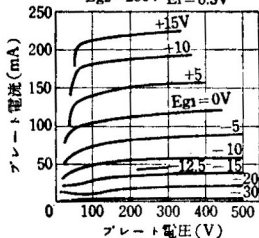


### 参考事項

ヒーターは交流直流いずれにも使用できる。又ヒーター電圧が 10% 迄低下しても出力の低下は少い。使用中管球が相当熱くなるから通風に考慮すること。別図に標準状態に於ける動作特性を示す。即ち負荷抵抗対出力・歪率特性曲線を示す最適負荷抵抗値が 5K $\Omega$  になっているのは第 2 高調波を小さくするためです。

(註) \* グリッド回路に過大な抵抗を入れて使用してはならない。入力結合の方法はトランス結合かインピーダンス結合をすすめます。グリッド回路の抵抗値は固定バイアスの場合は 0.1M $\Omega$ 、カソードバイアスの場合は 0.5M $\Omega$  以上になってはいけません。

6V6-GTプレート特性  
 $E_{g2} = 250V$   $E_f = 6.3V$



6V6-GTプレート特性(3極管接続)

